

表彰

日本油化学会功績賞

清宮 章氏
(元・日本油化学会事務局長)



清宮章氏は、1950年にお生まれになり、1974年 東京工業大学理学部化学科をご卒業後、同年にライオン歯磨株式会社(現ライオン株式会社)開発研究所に入社され化粧品(スキンケア製品、ヘアケア製品等)、医薬部外品(制汗剤等)の開発を担当し、1997年に企画管理部品質保証担当部長、1999年に薬事部長、2002年に薬品研究所長、2005年に企画管理部(研究企画・戦略)を経て、2009年に常務理事・事務局長に就任されました。

清宮氏は、事務局長(2009~2014年)と監事(2015年~現在)と合計12年間もの長きに亘り本学会に務めて多方面から学会運営に貢献され多くの功績を上げましたので日本油化学会功績賞を授与することといたしました。同氏の本学会への功績は以下の通りです。

清宮氏の事務局長時代の特筆すべき功績には、2011年3月に本会が内閣府から取得した公益認定に対する貢献があげられます。同氏は、公益認定取得の担当理事を務めて下さった戸谷洋一郎氏を支えて内閣府との調整に当たり手腕を発揮されました。公益認定の申請には、公益目的事業を行うことを定めた新しい定款の案や、その事業内容等を一般の方にわかり易く的確に伝えるための書類を作成することが課題でしたが、学会内の多くの専門家や関係者の協力を得て迅速に整えることができ、事務局長就任の翌年度2010年の9月に内閣府へ申請を行いました。そして、本学会の長年に亘る旧社団法人時代の活動実績とその意義が評価され、審査は順調に進み、僅か2か月後の同年11月頭に社団法人から公益社団法人への移行認定の内定を内閣府から頂くことができました。

更に、公益社団法人として活動をスタートしてからは、オレオサイエンスの普及と深耕を行うために必要な、年会・国際会議・セミナー等の事業を支える新たな組織の要として、また法人運営に必要な理事会・総会の運営を支える要として活躍され、役員・本部委員会・支部・専門部会の皆様との協力関係を良好に保ちながら、

今日の学会運営の基礎を築られました。そして本学会が社会的信頼を得るために、オレオサイエンスが産業の発展と生活・健康の向上を目的に実践する公益事業(研究成果の公開、人材教育、表彰、評価・試験法の標準化と普及、地域の学術普及、学術専門分野の活性化等)の重要性を社会に伝える事業報告書を毎年度作成して内閣府の承認を得て社会に公開してきました。

理事退任後の清宮氏は、本学会の監事となり、事務局長時代の経験を活かして会を常に適正な方向に導くことに貢献されております。特に2018年に、当時の事務局長であった故・桑田和彦氏が突然お亡くなりになった時は、持ち前の責任感を発揮されて、再度、事務局長の仕事に兼任され、現事務局長の金子行裕氏が就任するまでの約1年弱の期間を、河合武司元会長とともに会を支えて下さいました。この間には、前年度の内閣府への事業報告の提出、始まったばかりの新年度の事業運営、新事務局長への業務引継ぎ、内閣府の立ち入り検査等の重大な業務がありましたが、清宮氏は当時の役員の皆様と適切に連携してこの危機を乗り越えて下さいました。

そして今年度、総会において清宮氏は役員に再任され、監事としての責務を果たされる意志を示されました。その時に同氏は、日本油化学会のビジョン「オレオサイエンスを切り拓き、快適生活を支える科学者と技術者の交差点」に触れられて、とても広がりのあるオレオサイエンスに幅広く科学者と技術者を集めてこの素晴らしいビジョンを実現しましょう、とメッセージを残されました。

以上ご紹介した清宮氏の永年に亘るご業績とご貢献により、またその温厚で責任感の強いお人柄を含めて、本学会とオレオサイエンスが大きく発展したことはご存じのとおりです。清宮氏のご尽力に深く敬意を払い、日本油化学会功績賞を授与いたします。